

# DG-2310用 簡易モニタプログラム

Ver 1.01

Copyright (C) 2005 ONO SOKKI CO.,LTD

## ○概要

パソコンと小野測器製デジタルゲージカウンタ(DG-2310)との間でRS-232Cを使用してデータ通信を行い、取り込んだ測定データをExcel上に表示します。  
変換コネクタを用いることにより、USBでの通信も可能です。

1sに1回の間隔で表示を更新します(この間隔は設定により可変です)。

データを取得する通信コマンドは、「CDR」です。

DG-2310の表示データと開始からの経過時間をExcel上でモニタ表示します。

通信速度は、9600bpsで固定とし、ポート番号は画面上で選択します。

画面で設定した分解能を、DG-2310に送信します。

ExcelVBAを使用して作成していますので、特殊な環境を用意する必要がありません。  
ファイル名は「Dg2310.xls」です。

WindowsXP(SP1)、Excel2000で動作確認を行っています。

## ○操作方法

- 1 : パソコンとDG-2310をRSケーブル(クロス)で接続します。
- 2 : DG-2310の通信速度を9600bpsに設定します。
- 3 : Dg2310.xlsを起動します。
- 4 : 通信に使用するポート番号(Port)と通信間隔(Interval)、分解能(Resolution)を画面上で選択します。
- 5 : Startボタンを押すと、通信が開始され、データがセル上に表示されます。
- 6 : Stopボタンを押すか、シート上をダブルクリックすると、通信が停止します。

※ 必要に応じて、事前に「Setting」Sheetで初期値を設定してファイルを保存してください。

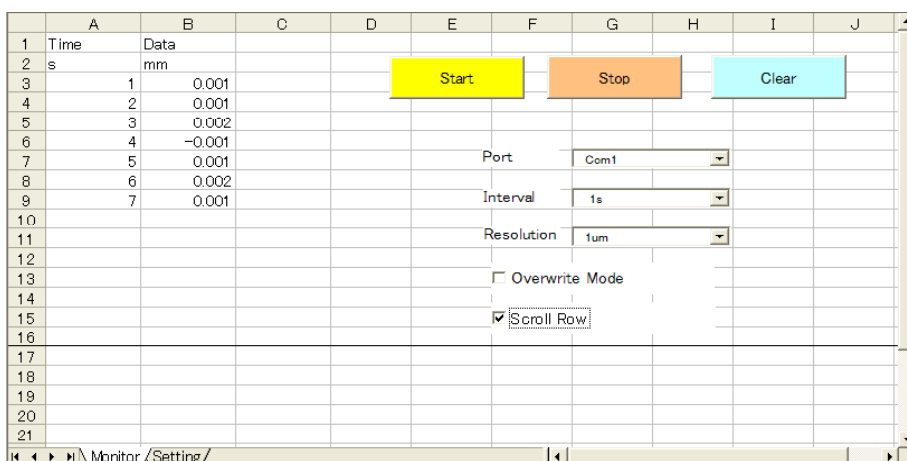
※ ポートのオープン/クローズは、StartButton/StopButtonのタイミングで行います。

## ○注意

このプログラムは、EasyComm Version 1.86を使用しています。  
EasyCommは木下氏( <http://www.activecell.jp> )作成のフリーツールです。  
作者の提示する条件に同意した場合のみ、使用することが出来ます。  
EasyComm Version 1.86については、作者のホームページをご覧ください。

このプログラムはフリープログラムです。  
このプログラムを改造、あるいは一部を複製して利用することは、商用に用いない場合に限って自由ですが、ご自身の判断で行っていただく必要があります。  
また、このプログラムを使用して生じた損害等につきましては、弊社では責任を負いませんので、ご承知の上ご利用ください。

## ○モニタ画面の説明



## □ コントロールの説明

Port	通信に使用するポート番号をCOM1～COM9から選択します。 初期値は「Setting」Sheetで設定します(初期状態はCOM1)。
Interval	モニタを更新する間隔を「1s～10s」から選択します。 初期値は「Setting」Sheetで設定します(初期状態は1s)。
Overwrite Mode	チェックをすると、データは常に3行目に表示されます。 チェックをはずすと、3行目から表示を始めて、1行ずつ下へ移動します。最大で65535行まで移動します。
Resolution	DG-2310表示分解能を「1um、10um、0.5um」から選択します。 スタートボタンを押したときに、この値がDG-2310に送信されます。 初期値は「Setting」Sheetで設定します(初期状態は1um)。
Scroll Row	Overwrite Modeをチェックしていない場合、データがシート内に表示しきれなくなったら、行をスクロールします。
Start Button	クリックすると、分解能をDG-2310に送信してから、モニタを開始します。
Stop Button	モニタ中にクリックすると、モニタを停止します。 シート上をダブルクリックしても、モニタは停止します。
Clear Button	クリックすると、モニタ表示したデータを消去します。

## □ シートの説明

- ・ 1行目と2行目はコメント行です。  
通常は、1行目にデータ名称、2行目に単位を記入します。  
初期値は、「Time,Data」「s,mm」です。
- ・ DG-2310から表示データを読み込み、1列目に時間を、2列目に測定データをモニタ表示します。

## ○初期値の設定

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	Initial Setting										
2											
3	Port	1	(1:Com1, 2:Com2, 3:Com3, 4:Com4, 5:Com5, 6:Com6, 7:Com7, 8:Com8, 9:Com9)								
4	Interval	1	(1~10s)								
5	Resolution	1	(1:1um, 2:10um, 3:0.5um)								
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											

初期値の設定は「Setting」Sheetで行います。  
ファイルを起動した際は、ここで設定した値が画面（「Monitor」Sheet）に表示されます。  
必要に応じて太枠の中を設定して保存しておきます。

Port	通信に使用するポートを「1:Com1～9:Com9」から選択して、太枠の中に記入します。 初期状態は「1」(Com1)になっています。
Interval	モニタの間隔(DG-2310との通信間隔)を「1～10」秒の範囲で太枠の中に記入します 初期状態は1(s)となっています。
Resolution	DG-2310の表示分解能を「1:1um, 2:10um, 3:0.5um」から選択して太枠の中に記入します。 初期状態は「1」(1 μm)となっています。

※ ここで設定する値はあくまでもファイルを開いた際の「初期値」ですので、「Monitor」Sheetで値を変更した場合は、変更後の値が有効になります。

## ○使用コマンド

CDR	表示データ取り込み
MON	メニュー設定モードの起動
MOF	メニュー設定モードの停止
RESx	表示分解能の選択(x 0:1um, 1:10um, 2:0.5um)

コマンドの詳細につきましては、DG-2310の取扱説明書をご覧ください。

## ○更新履歴

V1.01	1.01-1	Monitor画面のウインドウ枠を固定するように変更
	1.01-2	EasyCommをVer.1.86にバージョンアップ